

長照寺だより

# わ げん あい ご 和顔愛語

浄土真宗本願寺派(西本願寺) 摂取山 長照寺 静岡県三島市徳倉1195-817 電話 055-988-4242



長照寺の仏前結婚式第1号となった藤澤直樹、昭子ご夫妻

何ごとにおいても、善いことを思いつくのは仏のおかげであり、  
悪いことでも、それを捨てることができたのは仏のおかげである。  
悪いことを捨てるのも善いことを取るのもすべてみな仏のおかげである。

(蓮如上人御一代記聞書)

# 仏前結婚式を挙げて

藤澤直樹  
昭子



平成十五年五月五日、長照寺ご住職をはじめ、坊守様や執事の小塚様、又お世話人方々のあたたかいご配慮を戴きまして結婚式を挙げる事ができました。これもひとえに皆様の多大なるご尽力と深く感謝致している所です。特にご住職には幼少の頃より現在に至るまで、ボーカスカウト活動を含め公私共に本当にお世話になっています。今回の慶事につきましても、司婚者という大役を引き受けいただき大変ありがとうございましたと痛感しております。

私自身にとつてみると、ご住職が長照寺をたてられた時から、結婚という第二の人生のスタートの時は、ぜひご住職に報告して戴くという想いを持つていましたので、この日をこうして迎えられたことは本当にうれしいことでした。

そのような中で行われた挙式には、親族をはじめ来賓の方々、友人達列席の中で、勤行・司婚の言葉に始まり、誓いの言葉・念珠授与・焼香等を行い、一つ一つが厳かで全て心に残るものでした。また、阿弥陀様のおん前で、こうして挙式を行うということは、私達自身、身が引き締まり仏前結婚のすばらしさを身をもって味わうことができました。更に長照寺で行われる結婚式第一号としては、私達夫婦にとり、一生忘されることのできない一日となりました。

これから先はご縁を大切にし、誓いの言葉のとおり、み教えにしたがい、夫婦仲むつまじく、互いにいたわり助け合い、内にあつてはうるわしい家庭を築き、外にあつては世のため人のために尽くす、よき社会人となるよう努力していきたいと思います。

最後になりましたが、私達二人の両親へ一言お礼を言わせていただきました。それは、本日この日を迎える事ができましたのも、今まで育てていただき良き先輩方々に出遇いを与えて下さったものと、本当に感謝しています。これからは両親を見習いすばらしい家庭を築きますので宜しくお願ひ致します。ありがとうございました。

# 長男の結婚式

長照寺世話人

藤澤

博



新郎父

新郎母

新郎祖母

新郎弟

五月五日、風薰り新緑も鮮やかな良き日に長照寺にて長男の結婚式が無事に執り行なわれ、親として感無量の思いです。

思えば長男・直樹は三才で、ご住職の実家である白道保育園（善教寺）入園以来、今日に至るまでボーリスカウト活動などを通じ二十三年間の長い年月、長照寺ご住職には公私に渡り御指導御鞭撻を頂いて参りました。そんな長男が社会人となり伴侶を迎える家庭を持つまでに成長。式を挙げるにあたり息子より長照寺仏前でご住職に司婚者をと申し出があり、親の願つていた思いと一致した事にも感銘し、住職には本人よりお願ひ申し上げ心よく引き受けて頂きました。

長照寺仏前にての式は第一号ということで、本人達にとつては一生の思い出、第二の人生スタートとしては、格別の思いであつたことも確かでした。

ご住職を始め坊守様、小塚執事様には、式当日までの準備、打ち合わせ等に貴重な時間を費やして頂き心より感謝申し上げます。

参列者の方々からも仏前式がこれ程、厳肅で心に残るものと感銘を受け出席出来たことを幸せに思つたとの言葉を頂戴し長照寺にて式を挙げることができ喜びも一入でした。

お寺に対しては、つい葬儀・墓参りに依るものと思いがちですが、結婚という人生の新たなスタートにも大変ふさわしい場所であること、住職の定例法座で話されている内容を改めて知つた気がしました。この式も長男・私共の長照寺の御縁によるものです。

今後も多面に渡り御縁を大切に、若輩の二人が明るく楽しい家庭を築いていくことを親として願っています。

これから挙式予定の皆様には、ぜひ長照寺で仏前式をお勧め致します。最高の式となることを実証します。

# 親睦旅行と世話人になつて

自称

住職指定要注意人物 中野光治



## 第一場 日光猿軍団

猿の集団がそれぞれ個性を出しての演技に笑いを誘い、特に番町皿屋敷の「お菊」が井戸の蓋を勢いよく開け閉めして出入り、「お菊チャーン」で「はいポーズ」会場からの呼び掛けでも「はいポーズ」と猿らしく決まり、爆笑のうず。しばらくはお菊ポーズの真似が周囲の人々に及び、笑いが絶えませんでした。

## 第三場 輪王寺と日光東照宮

天皇家に菩提寺があり明治、大正、昭和の歴代天皇の位牌があることを特別拝観で始めて知った。宗派は天台宗、そして広大な金堂で鬼門除けの金色の御札の販売、金堂内陣巡りで十二支の守り本尊と対面、お守り札の販売。わが集団は、見るだけ、聞くだけ、念佛だけ、買った人なし。日頃住職の法話が身についた所業と感服しました。

続いて東照宮の参詣。豪華できらびやかな建造物、そして彫刻、國家権力の壮大な浪費が観光資源となり、地域全体が大繁栄するとなれば偉大な投資であつたと納得しました。

今回は門信徒世話人として初めての旅行でした。未熟な私ですが、楽しみながら、御奉仕させていただきますので、よろしく御願い致します。



第一場 湯西川温泉  
昨年長野研修旅行の時のドライバーとガイドさん、今回も一緒。一年振りの再会に盛り上がり、いざ出発。  
平家追討旗揚げの地三島より、落人集落の「伴久ホテル」を訪れる御縁。そして心暖まるもてなし、庄巻は全部色違いの女性の「ゆかた」三百着、自分で選べる企画に感激。女性全員それなりの若きコンパニオンに変身。目が点になり、奥方を連れて来なかつた不運を嘆いたお父さんもいたでしょう。男性の目を確実に楽しませてくれました。更に住職の喜び組になんと高橋総代と日原さん。増島棟梁の「ミソ汁の唄」セリフも決まりヤンヤの大聲援と拍手で平家の里の夜が更けたのです。

活 動 報 告 平成15年上期

2  
0  
0  
3

**釈尊降誕会・花祭りと親睦お花見会 四月六日**  
 お釈迦様誕生を祝い甘茶の接待がありその後、桜の下でバーベキュー大会で、みな幸せになりました。

**修正会 一月四日**

新年のお祝いと法要に五十余名が参加されました。

**新年会 一月四日**

住職がアニサキス一匹でダウンされ、出席できぬ新年会でした。現在は快調そのものです。

**成人式 一月四日**

園田京子さんが  
報告参拝されました。



**寺報発行**（長照寺だより）第九号 二月十六日

**春季彼岸会** 三月二十一日

本持信慈講師により一時間半の法話に百余名の門信徒がお

話に聞き入った。  
当山住職の法話が一番いい……カナ？

**結婚式** 藤沢直樹さん・菊地昭子さん 五月五日

当山第一号の結婚式で、住職も感無量。おめでとうございます。

## 静岡東組組会・総代研修会

五月八日

於淨性寺

組会とは一年間の決算報告、組行事計画等の総会を云います。

### 門信徒会総会 五月十一日

各議案・役員増員の件とも御承認されました。

新しい役員に 中野光治（萩）

船坂廣治（芙蓉台）

よろしく御願いします。

### 団碁会 六月八日

参加者五名

参加者募集！



## くわ入れ式

杉山謙次さん 六月十四日

### 親睦研修旅行 日光

六月二十日～二十一日（一泊二日）

三十三名参加

旅は、何度も同じ所へ行つても同じ事はないですね。  
いつも新しい何かに感動を覚えます。

## 今後の活動予定

7月27日	境内清掃作業・親睦懇親会	境 内
8月13日～15日	合同盆法要（計8回）	本 堂
9月23日	秋季彼岸会法要	本 堂
9月27日	静岡東組門信徒の集い	淨立寺
10月19日	団 碁 会	和 室
10月29日	親 睦 会（ゴルフコンペ）	
11月16日	報恩講・座談会・茶話会	全 館
12月7日	境内清掃作業	境 内
12月31日	除 夜 会	本 堂
1月4日	修 正 会	本 堂
1月4日	新 年 会	会 館

※各行事は、予定ですので、その都度、寺から案内を送付します。

※定例法座は毎月第1土曜日 午後7時より本堂にて開催。

※その他に親睦の集いを募集・計画中。

日頃の忙しさから解放されて気持ちが軽くなる自分を発見できるかも知れません。

## 第九号クイズの答え

一、聖徳太子の十七条憲法には、篤く何を敬えとかかっていますか。

(答) 三宝（仏、法、僧）を敬え

二、聖人は流罪をゆるされた後、どちらの地方へ行かれ伝道の日々を送ったのでしょうか。

(答) 関東常陸の国（現在茨城県）

## 「和顔愛語」表題の意

顔は、自分のものでも他人に見せるもの。言葉と言うものは、自分の口からでるときは、三分釘でも、相手に突き刺さると五寸釘となる。明るい笑顔。思いやりのある言葉。いつも自分勝手にふるまいがちな私たち。知らないうちに他人まで傷つけてはいませんか。自分を見つめ直してみましょう。他人の身になって考えてみましょう。大切にしたい、やわらかな心。

ミニミニ  
辞典

## 仏教用語

★一蓮托生  
(いちれんたくしよう)

極楽浄土の蓮の上に共に生まれ出たいと一心に願うこと。この意味が転嫁して運命を共にするという意味にも使われている。

三塗とも書く。地獄・餓鬼・畜生の三つの悪道。

★衆生利途  
(しゅじょう)

この世にいきこしいけるもの一切をいう。



門信徒世話人 長島政信

## 感話

仏教をひと口で申しますと、「人が人間になる」教えである。あたりまえのことを、あたりまえに実行する人間になる道のことなのである。

親を大切にし、夫婦睦まじく、兄弟姉妹は助け合い、友達とは仲良く、拾ったものは届けましょう。

別にむずかしいことではありませんが、じっさいは、これほどむずかしいものもありません。親を大切にしなさいといつても、なかなか出来るものではありません。夫婦の生活も長くなりますと、ことあるごとにいがみ合うのが実情ではないでしょうか。なぜ、こんなになるかと、静かに反省しますと、人間は例外なく誰よりも自分がかわいいからです。すべての争いのもとは、みなここから出てまいります。

法話を聞くと、いろいろと気づかされること受けあいです。

## 十号クイズ

一、仏様の教えが伝えられていく時の流れを表わす言葉として「正法」「像法」「」とあります。最後の「」は何と云うのでしょうか。

二、東京築地にあります別院の正式名称は？  
三、聖人は関東を中心にお念佛を広めましたが最も長く滞在していた所はどこでしょう。

回答は、次号に掲載します。





## 楽しい研修旅行

みんな違うゆかたで、女性軍はほんとうに華やかでした。温泉（アルカリイオン）も、肌によく、なめらかで、お世辞抜きで十は若返りました。現在は元にもどっています。



### ラジオ法座

FM三島函南 77.7MHz

## 心の窓を開く

お話／当山住職

毎週水曜日 朝7時45分(5分間)新  
暁1時30分(5分間)再

●好評の法話をまとめた小冊子が第三巻まで発刊されています。ご入用の方は寺務所までお申し出下さい。(無料進呈)

### 編 集 後 記

☆限られたスペースのため投稿されても掲載出来ない場合もありますがご了承下さい。

☆お寺は「よろず相談所」です。

日頃悩んでいる事がありましたら何でもご相談下さい。

☆次回寺報は、平成16年2月15日発行予定です。

●ご意見・ご要望は、寺務所まで  
〒411-0044 三島市徳倉1195-817  
TEL・FAX 055-988-3900  
編集人＝長島・菊沢・斉藤・園田